

## 平成29年度第1回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

■日 時 平成29年4月4日（火） 18時～20時15分

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

### 1 会議開催について

委員数19名に対して10名が出席しており会議は成立。

### 2 開会のあいさつ（会長）

---

### 3 議事

#### （1）報告事項

ア まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について（資料1：復興政策課職員が説明）

（委員）「女性のチカラを活かす企業」とは、実際にどのような企業が該当するのか。

（復興政策課）企業名については、資料がないので分からないが、ある一定の基準を満たすことで、女性の社会進出等に貢献していることから宮城県が認証するものである。

（委員）総合戦略65ページにある地元定着について、若い人たちが高校、大学卒業後、地元志向を持っている場合、その主な理由や動機についてどういう分析をされているのか。石巻専修大学では、労働条件が合わないなどの理由で市内就職（地元定着）ができないケースが出ている。

（復興担当審議監）さまざまな要因が重なり合っていることが考えられる。今後、アンケートを行いながら、なぜ市内に住み続けたいのかという要因について分析を進めていきたい。

（委員）「移住コンシェルジュを活用した本市への移住人数5人」とあるが、家族で移住してきた場合のカウントはどのようにするのか。

（地域振興課長）昨年度実績として、住所を移している方が1名、住所は移していないものの石巻に住んでいる方は3名となっており、家族で移住しても1件と考えている。

（副会長）移住に関して石巻市のターゲットはどの世代なのか。

（地域振興課長）今後、起業をしていただけるような若い方をイメージしている。

（副会長）国も県も起業に力を入れているが、新たなものだけでなく、今あるものを続けていく、繋げていくような取り組みも大事ではないか。

（地域振興課長）起業のほかに、人を育てるというプログラムも入れながら行っていきたいと考えている。

（委員）総合戦略64ページにあるスポーツ振興事業について、テニスを例に挙げると、沿岸地域を中心にキッズプログラムを日本テニス協会とタイアップして行い、人格形成等に力を入れている。しかしながら、うまく展開されていないこともあり、この総合戦略の中で、具体的な振興策について掘り起こすのもいいのではないか。

(復興担当審議監) まさに今、オリンピック・パラリンピックに向けて、各競技に係る連携を進めているところである。今後、どのような取組みができるか検討を続けていきたい。

---

#### イ DMOによる広域観光連携について(資料2:観光課長が説明)

(委員) 今後、生鮮マーケットができるが、生ものは販売しないという噂を聞いたが、観光客だけでなく、地元市民も意識した販売としてほしい。

(会長) 新しい生鮮マーケットは、生ものは販売することで進めている。また、一部、農産品(ハーブ、ベビーリーフ、パプリカなど)についても販売する予定である。また、観光客だけの施設ではなく、地元の方が利用できる、愛される施設でなければいけないと思う。水産業や農業、木材や飼料、製紙業、製鉄業等の石巻の大きな産業があるが、今後、観光という視点で、交流人口を増やす努力をしていくことが必要であろう。

(観光課長) テナント一つをとっても、経営が成り立つためには観光客だけでなく、地元の方も巻き込んでいくことで、より成果が得られると考えている。

(委員) 子育て世代は、気軽にお出かけできるような場所が市内になかなか見当たらず、市外に行くような方も多いと聞く。いろいろなイベントがあれば、興味を持てるのではないかな。

(観光課長) 石巻の良さ、魅力をもっと探して、発信していく。これは、市外だけでなく、市内にも発信していきたい。イベントについては、催しをする団体への助成金も出していることから、今後も推進していきたい。

(会長) 地元の人は地元を知らないというところがある。今後、南浜復興祈念公園、旧北上川河川堤防整備等、また、雄勝、北上、牡鹿各地区の拠点が整備されることで、親子で楽しめる場所が増えるので楽しみである。

(委員) 鮎川地区は、番屋という建物があり、地場産品を宣伝して販売を行っている。拠点整備や観光戦略と合わせて推進していただきたい。

(委員) 地域住民の「観光地域づくりへの意識醸成」について、どのようなことを想定しているのか。

(観光課長) 現在のところ未定であるが、地域のお祭りなども観光商品となり得るので、これらも使いながら、交流人口が増えるような仕掛けを作っていきたい。地域の方とともに検討していくことになる。

(副会長) 宮城県主催で観光に係る高校生へのツアーを行っていたようであるが、市とのつながりについて教えてほしい。

(観光課長) 復興庁や県でも女性や高校生を対象に半島部などを回るモデルツアーを実施したが、市も同行し、共通認識のもと行っており、コンセプトを共有しており、今後DMOに取り入れながら観光振興を図っていきたい。

---

#### ウ 自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業について

(資料3:地域振興課長が説明)

(委員) 移住希望者のニーズをどのように把握しているのか。

(地域振興課長) 移住コンシェルジュに相談してきた方や移住希望者とのマッチングイベ

ントに参加した方で、希望者については登録をしてもらい、把握している。

(委員)迷っている方や生活を変えたいと考えている方(移住までたどり着いていない方)へのアプローチはどのように行っているのか。

(地域振興課長)専用求人サイトやアプリなどを通して情報発信している。

(委員)ローカルベンチャー関連事業の負担金1,000千円の支払先はどこになるのか。

(地域振興課長)自治体ごとにある事務局を束ねているNPO法人ETICである。

(委員)単年毎の委託となるのか。

(地域振興課長)そのとおりである。

(委員代理)ローカルベンチャーという枠組みはここだけなのか。他の自治体でもこのような枠組みがあるのか。また、どこの自治体でも入れるのか。

(地域振興課長)現在は8自治体による枠組みで行っており、共通プログラムと独自プログラムを実施できる自治体であることが条件となっており、それに本市が手を挙げた。次年度は数自治体が追加で参加することが予定されている。

(委員代理)内容やコンセプト等、毎回見直しされるものなのか。

(地域振興課長)目標は、移住定住の促進であり、さらに、この団体が将来的に自走してもらうことを想定している。

(委員)このETICは起業家を育てることだけを行っているのか。

(地域振興課長)起業家を育てる分野に長けているのであって、これだけを行っているわけではない。

(副会長)総合調整管理業務、ローカル事務局運営費の違いは何か。

(地域振興課長)総合調整管理業務は、石巻市の独自プログラムにかかるものであり、ローカル事務局運営費は、全国で実施するローカルオリジナルプログラムにかかる経費である。

(委員)テクノマキの分野について、石巻ではどんな分野だと成功するとか、どんな人材を重点的に育てたいのか。

(地域振興課長)昨年度はIT分野に特化して実施したが、今後、分野を変えながら石巻から人材を育てたいと考えている。

(委員)松下村塾について、市民は参加できるのか。

(地域振興課長)市民講座という意味合いではなくて、与えられたテーマについてスキルアップしたい、志がある方に参加していただきたいと考えており、市民は参加できないわけではない。

---

## (2) 協議事項

### ア 今後の会議の進め方について(資料4:復興政策課長補佐が説明)

【交付金事業、総合戦略KPIの評価検証方法等について】

(委員)2回に分けて行う案がよい。

(委員)2時間で終わる仕組みがほしい。

(委員)KPIの数値は中間段階であり、大まかにチェックしていくレベルでよいのではないか。

【テーマ（分野）を決めた会議（講演会等）】

（委員）E T I C、増田元岩手県知事や地方創生の枠組みを作った官僚などを呼んで、話を聞いてみたい。

（会長）市の事業について、市民の方に評価してもらおうということが、初めての試みである。試行錯誤しながら進めているところがある。今すぐには決められないので、後日、資料に記載の上、提出していただきたい。

---

4 その他

企業版ふるさと納税について（復興政策課職員が説明）

5 閉会のあいさつ（副会長）

## 石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員名簿

(平成28年6月29日現在)

No.	氏名	所属	備考
1	安住栄一	牡鹿地区住民代表	出席
2	阿部紀代子	コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会	副会長 出席
3	阿部 都	いしのまき農業協同組合	欠席
4	荒木 裕美	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	出席
5	大 浪 茂	河北地区住民代表	出席
6	小野寺 芳一	七十七銀行石巻支店 (代理 木村様)	出席
7	木村 美保子	いしのまきNPOセンター	欠席
8	後藤 宗徳	石巻観光協会	会長 出席
9	西 條 拓也	いしのまき農業協同組合	欠席
10	佐藤 清子	河南地区住民代表	出席
11	佐藤 尚美	北上地区住民代表	欠席
12	品野 光一郎	宮城県漁業協同組合	欠席
13	庄 子 真 岐	石巻専修大学	欠席
14	大 黒 雅 弘	日本労働組合総連合会宮城県連合会石巻地域協議会	欠席
15	高 橋 真由美	雄勝地区住民代表	出席
16	中 川 尚 仙	石巻商工会議所	出席
17	永 澤 貞 代	桃生地区住民代表	欠席
18	芳 賀 信 幸	石巻市地域包括ケア推進協議会	出席
19	三 浦 トキエ	石巻市地域婦人団体連絡協議会	出席

(氏名の五十音順、敬称略)